

ミニトマト斑点病に対する各種薬剤の防除効果

福島県農業試験場病理昆虫部
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 野菜－トマト－病害虫防除
分類コード 03－04－23000000
- 2 担当者 芳賀紀之・堀越紀夫・平子喜一
- 3 要 旨

ミニトマトにおいて斑点病の発生が問題となっていることから、ミニトマト斑点病に対する薬剤の防除効果を検討した。

(1)銅水和剤(ドイツボルドーA)の予防散布(斑点病菌接種14日前、7日前、1日前)で防除価70以上の高い防除効果が得られた。

(2)銅水和剤(ドイツボルドーA)の菌感染後の散布(斑点病菌接種1日後の散布)では、防除価11と、防除効果は認められなかった。

(3)イプロジオン水和剤の予防散布(斑点病菌接種7日前、1日前)で防除価70前後と、高い防除効果が認められた。

(4)以上の結果から、ミニトマト斑点病の薬剤防除において、発病前の予防散布(ドイツボルドーA、ロブラール水和剤)が効果的であり、菌感染後の散布(ドイツボルドーA)では防除効果が期待できない。なお、有機栽培で使用可能な薬剤はドイツボルドーAである。

- 4 その他の資料など